

も食より取ゆ〜飼へば今より〜多ハ不殺のうきとや

秋の野に尾花のあふより数せりハ限るうつ〜ふの鷹

尾花のあふよりとうげ〜鶉のより数ようげ〜也百を数れ

多る事百よりまぐよりて得物の多き鶉府の鷹に逸物え

とよ〜あひ〜鶉や四ノ句より五ノ句のうつりもあ〜塙本は四ノ句の

首を何とまれどもささえびいくつあ〜とやあ〜むと能とる

みとひ百までと云ふ又うき〜ねハ限るとさるゆ〜さねハ府を

さ〜とさるゆ〜さる

秋の野に木の葉うへりの鷹人やなもあ〜さ〜とさる〜む

木の葉とさるは秋とさるせ〜木の葉うへりハ木の葉もとて拾附れ